

令和8年度第1回 史跡元寇防塁（箱崎地区）整備活用検討会

議事要旨

日 時 令和8年8月10日（月）午前10時～12時

場 所 福岡市博物館 2階 多目的研修室

出席委員 千 相哲委員、田尻義了委員、中村直人委員、堀 賀貴委員（五十音順）

■ 協議事項（1）広場の設計について

- ・ 広場については、南から北へ時代をさかのぼることが体感できるように、舗装、植栽、サインを効果的に配置することを検討すべき。
- ・ 夜間の管理を踏まえた屋外照明の検討が必要。
- ・ 北エリアも含めて、駐車場の設置を検討した方がよい。
- ・ 展示施設の北側から人を誘導するような工夫が必要。
- ・ 広場から展示施設に入る場合、今のエントランスの配置では、入退場の来館者が混雑する恐れがある。

■ 協議事項（2）展示の設計について

- ・ 利用者が滞留しすぎないように、映像や体験の時間を調整する。
- ・ モンゴル襲来の全体のストーリーが理解できる展示を検討してほしい。
- ・ 床に展示する地図は、現代の地図だけでなく、過去の海岸線や地形も表現して、なぜここに防塁があるのか、博多のまちをどう守ろうとしたのかを理解できるものを検討する。
- ・ 土木技術史的な要素も展示に入れ、防塁をつくる土木技術がいかなるものかを伝えるような展示を検討する。
- ・ この展示施設は、元寇防塁全体の情報の発信基地としての役割を担っている。